

設置・工事説明書

National

ナショナルガスコンベクションBB

高速ガスレンジ

品番 NE-BB900 NE-BB900E NE-BB900K NE-BB900Q

工事される方へのお願い

- この器具を正しく安全にご使用いただくために、この説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- この器具は本体と別梱包の「収納ユニット」が必要です。システムキッチンのカウンタートップの高さに合った「収納ユニット」を準備のうえ工事を行ってください。
- 設置工事が終わったら(設置工事後の点検確認)のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- 工事終了後は、この設置・工事説明書を取扱説明書の中にはさんで器具に取り付けておいてください。

設置工事後の点検確認

●チェックリスト

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
ガス種	器具が使用するガス種に適合しているか。(銘板確認)	3	
電源(電圧)	電源電圧(100V)	3 5	
可燃物との距離	可燃物との距離(燃焼、火災予防)の措置は十分か。	3 4	
水平設置	水平にセットされているか。	4	
安定設置	ガタツキはないか。	3	
換気設備	十分換気できる場所に設置されているか。	3	
ガス接続工事	ガス漏れはないか。	4	
		5	
電気工事	電源コンセントは専用回路になっているか。 アース工事をしたか。	5	
付属部品	調理用耐熱皿は同梱されているか。	工事説明書	
その他	グリル、オープン扉内に同梱物が残っていないか。	5	

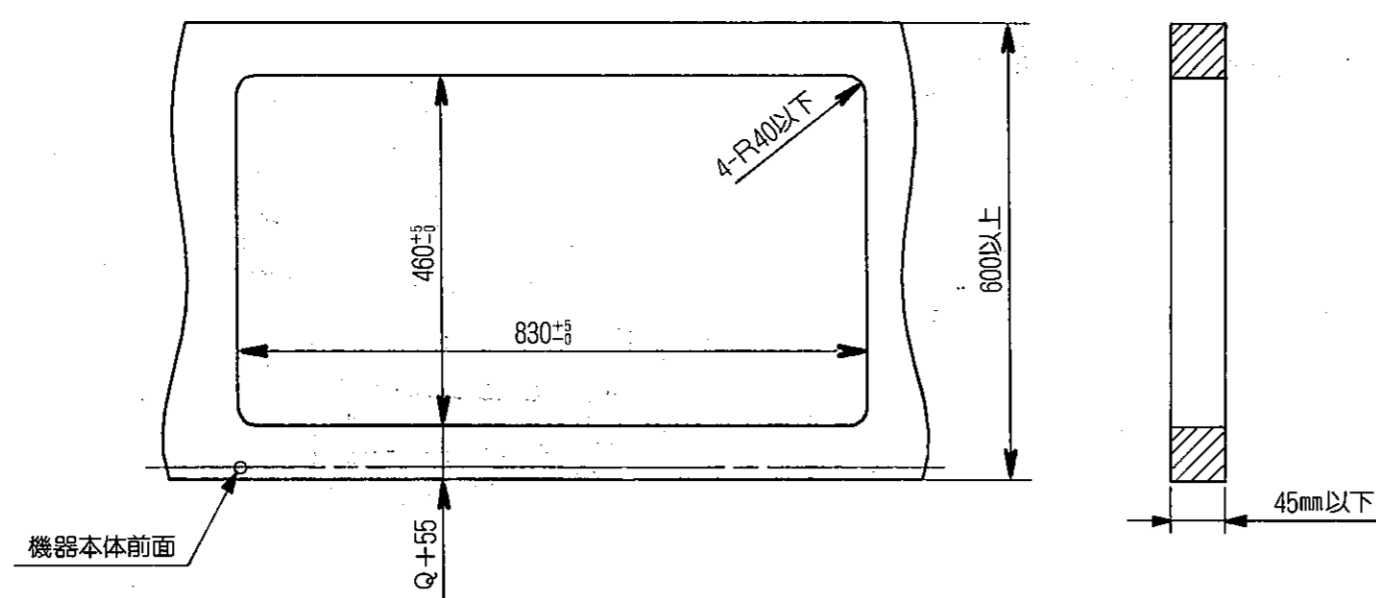
試運転

1. 取扱説明書の「操作のしかた」にもとづき試運転を行ってください。
2. 試運転が終了しましたら長時間使用しないときは、お部屋のガス元栓を閉じ電源プラグを抜いてください。

お客様への取扱説明

1. 取扱説明書によって器具の取扱いを説明してください。
2. 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様に取扱説明書と共に保管のお願いをしてください。

カウンタートップ切り込み寸法

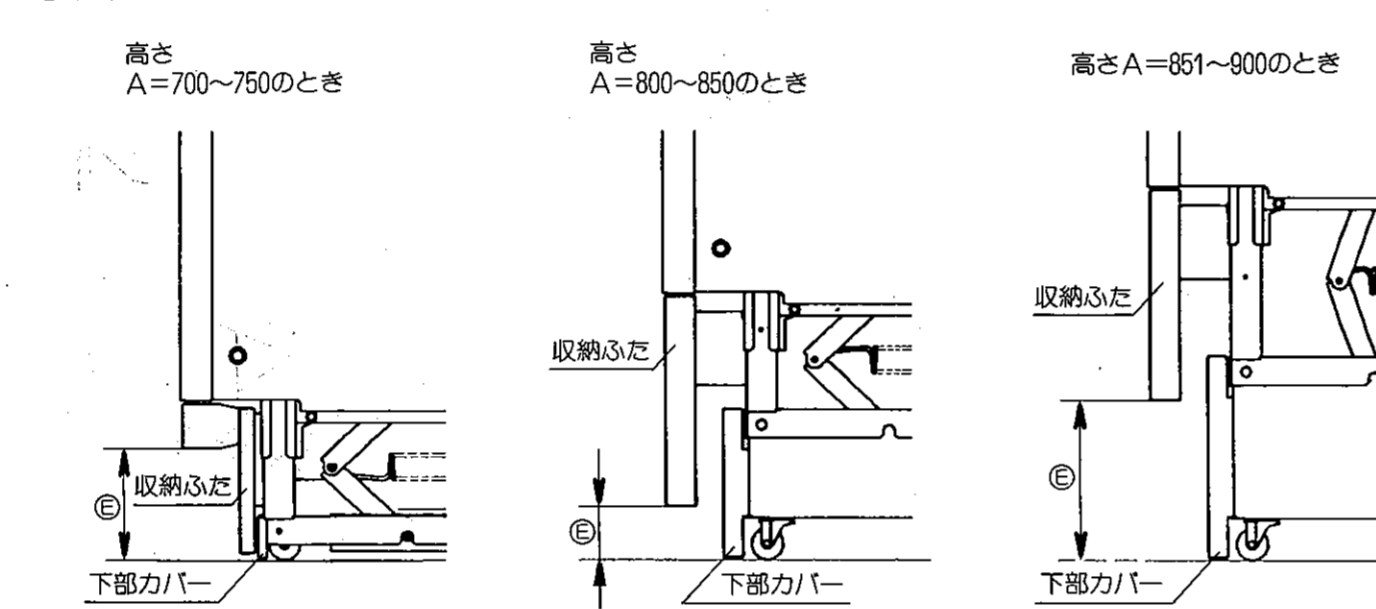


■収納部納り図

キッチン高さ700~750*、800~900*mmの範囲で任意に対応できます。キッチンの高さ◎寸法によって◎寸法が異なります。

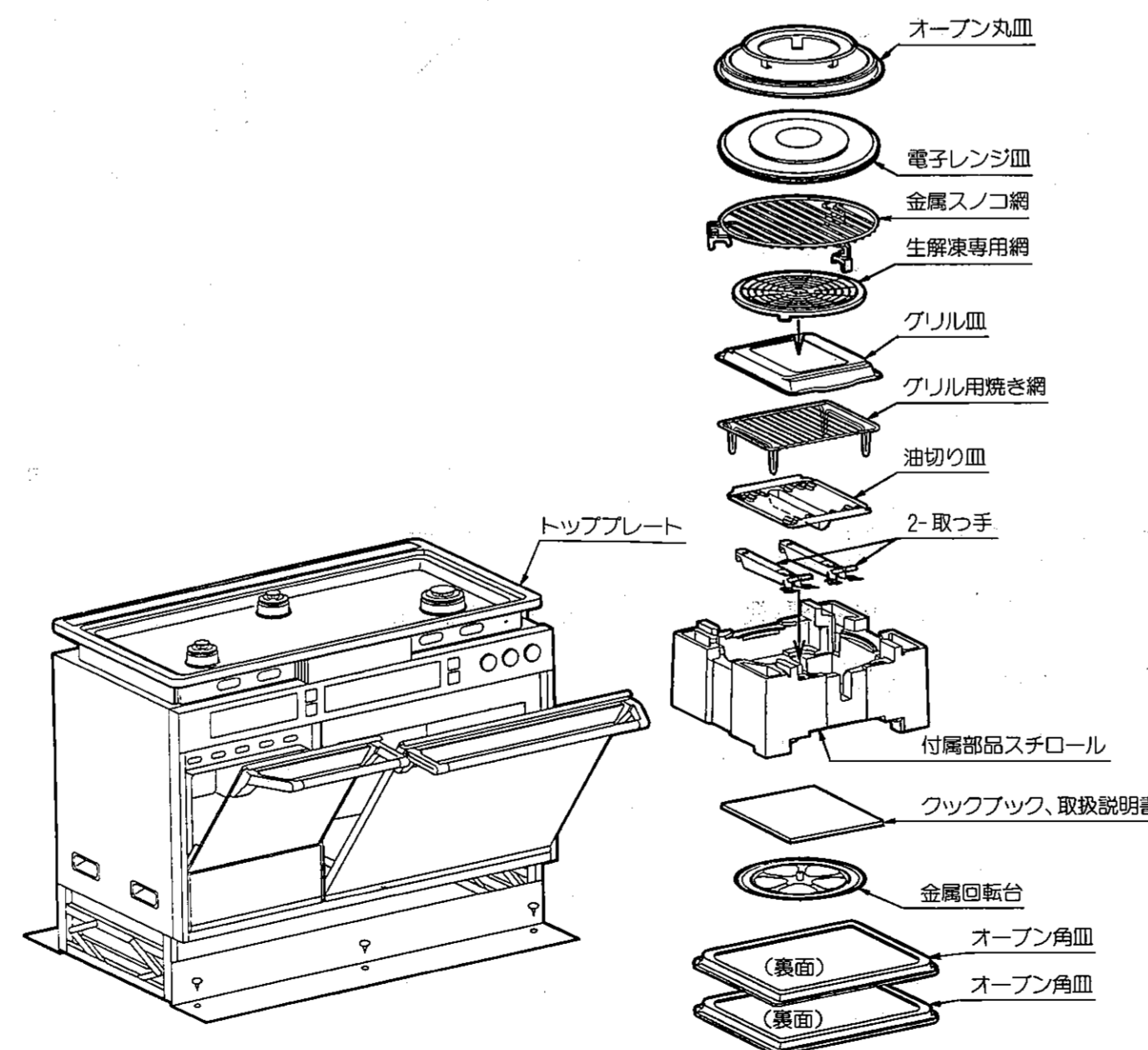
別梱包部材(収納ユニット)品番	色調	対応するキッチン高さ◎寸法	◎寸法	◎寸法
NE-PB907	シルバー	700 ~ 750 mm	78 ~ 128	105 ~ 155
NE-PB908	黒	800 ~ 850 mm	178 ~ 228	55 ~ 105
NE-PB909		851 ~ 900 mm	229 ~ 278	106 ~ 155
NE-PB908E		800 ~ 850 mm	178 ~ 228	95 ~ 145
NE-PB907Q		700 ~ 750 mm	78 ~ 128	115 ~ 165
NE-PB908Q		800 ~ 850 mm	178 ~ 228	100 ~ 150
NE-PB909Q		851 ~ 900 mm	229 ~ 278	151 ~ 200

カウンタートップの厚さが45mm以上の場合は組み込みません。◎下部カバー高さ、



2 設置前のご注意

1. 開梱したら次の項目を確認してください。
 - 器具外観に異常がありませんか?.....キズ、つみみ類の損傷等。
 - テープやマットを取り除いてください。.....輸送中の器具を保護するものです。

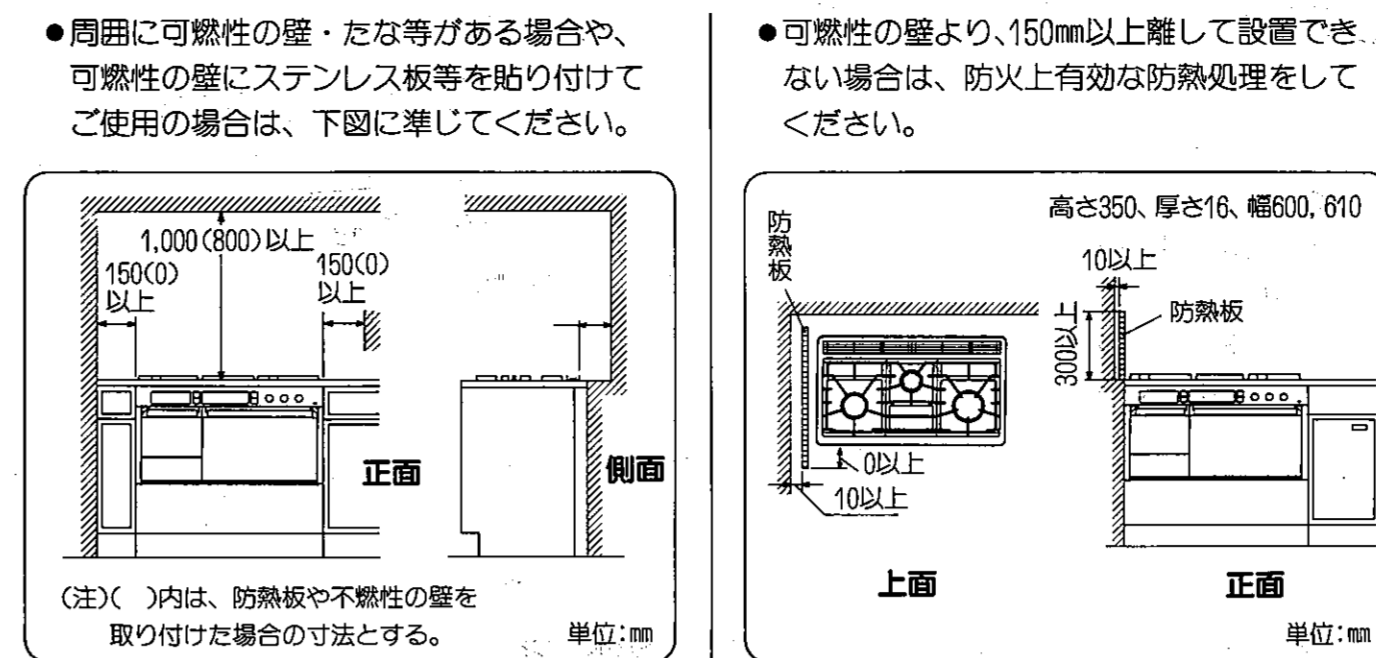


2. 本商品には必ず「収納ユニット」が必要です。

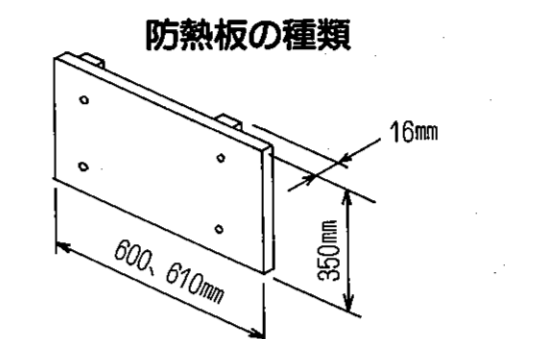
- カウンターの高さにより部材が異なります。部材を確認したのち、機器設置の手順に従い設置してください。

3 設置場所の確認

1. 設置場所をお決めになるときは、次の事項をよく吟味してから決めてください。



- 可燃性の壁より、150mm以上離して設置できない場合は、別売りの防熱板を取り付けてください。GT-F40(600), KBN-2(610) (防熱板を取り付ける場合には、上図のように取り付けてください。)

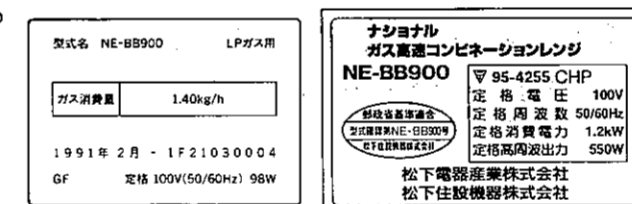


- カウンタートップ材は熱硬化性樹脂化粧板(JIS・K・6903)又はこれと同等以上の材料をお使いください。

●注意

- 燃焼機器を設置する場所には、建築基準法や電気設備技術基準・火災予防条例に定める防火処置を施す必要があります。
- この機器を設置される台所が、建築基準法に定める(内装制限を受ける調理室)に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。
- 表面がニス引きのものは変色しますのでお使いにならないでください。
- 設置する部屋には、必ず給気口を設けてください。(給気口の大きさは、1000kcal/h当たり10cm以上を目安にしてください)
- オープン排気口をステンレスの水切りカバー(水返しカバー)などでふさがないようにください。
- 本体をタイルやモルタルで、塗り込まないようにしてください。
- 耐久性などの点から、できるだけ湿気の少ないところを選んでください。
- 機器の真上に排気フード付排気筒(レンジフードなど)を設けてください。
- 器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など燃えやすいものは、置かないようにしてください。

- 使用するガス(ガスグループ)に適合していますか?.....器具の銘板と照合してください。
- 使用する電源(電圧)に適合していますか?.....器具の銘板と照合してください。



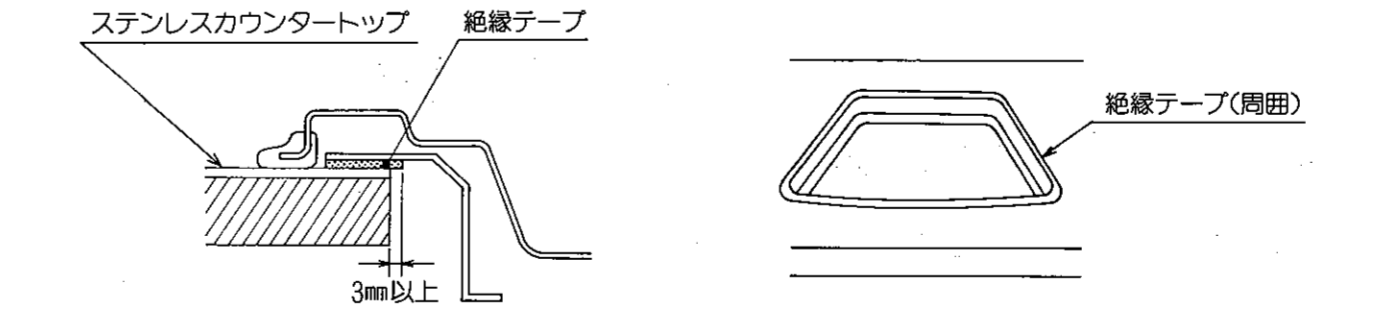
2. ガス配管の位置を確認してください。
 - ガス管が所定の位置にありますか?.....詳しくは「4 ガス配管工事」を参照ください。

3. カウンタートップの材質を確認してください。

- 非金属製ですか? (例 ポストフォーム、人工大理石等).....絶縁処理は必要ありません。
- 金属製ですか? (例 ステンレス等).....絶縁処理が必要です。

●注意

- ステンレス製カウンタートップに組み込む場合は、必ず絶縁テープで絶縁処理を施してください。
- 電気設備技術基準182条により本体の一部が家の壁中のラスや、流し台のステンレス天板等に電氣的に接触しないよう義務づけられています。したがってステンレス製のカウンターに、組み込む場合は、必ず絶縁シールをカウンターに貼付け本体の上部枠が電氣的に接触しないようにしてください。



4. カウンター高さを確認してください。

※高さにより別梱包部材が異なります。

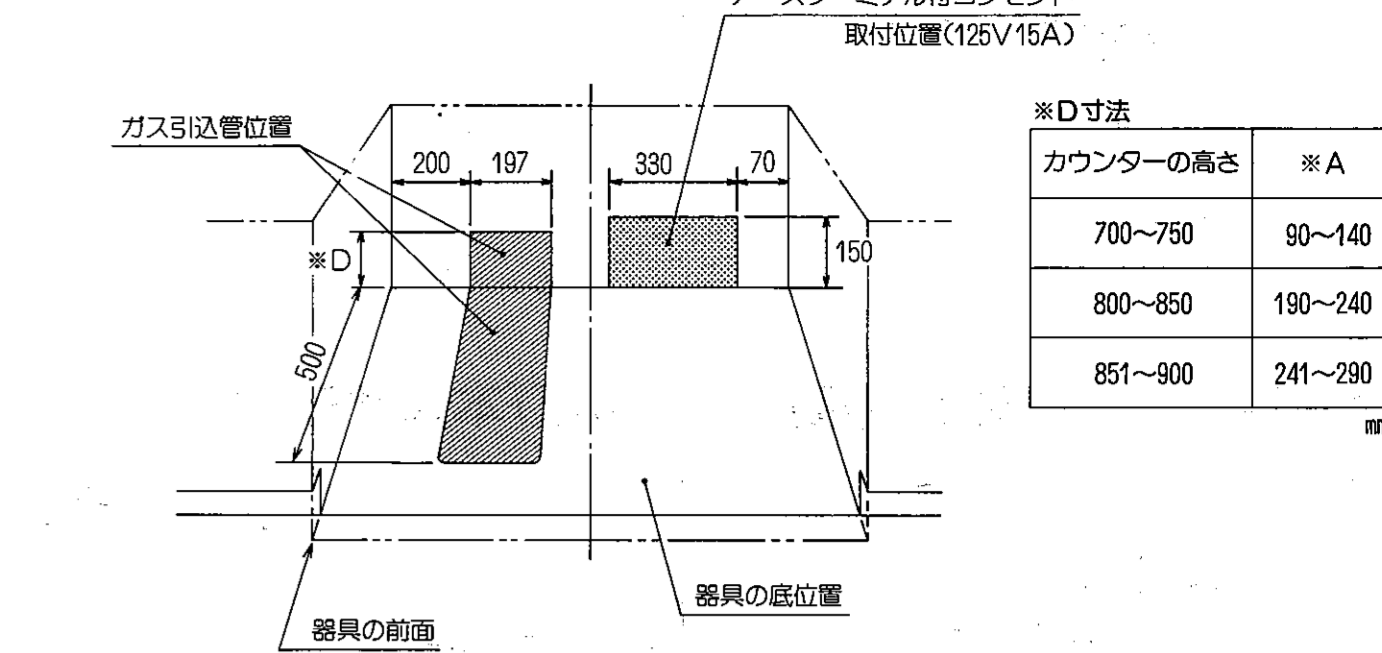
機器本体品番	カウンター高さ	別梱包部材品番	色調
NE-BB900	700 ~ 750 mm	NE-PB907	シルバー
	800 ~ 850 mm	NE-PB908	
	851 ~ 900 mm	NE-PB909	
NE-BB900E	800 ~ 850 mm	NE-PB908E	黒
	700 ~ 750 mm	NE-PB907K	
	800 ~ 850 mm	NE-PB908K	
NE-BB900K	851 ~ 900 mm	NE-PB909K	黒
	700 ~ 750 mm	NE-PB907Q	
	800 ~ 850 mm	NE-PB908Q	
NE-BB900Q	851 ~ 900 mm	NE-PB909Q	黒

※別梱包部材の内容は、それぞれに同梱している付属品説明書を参照ください。

4 ガス配管工事 ガス接続は金属管接続してください。

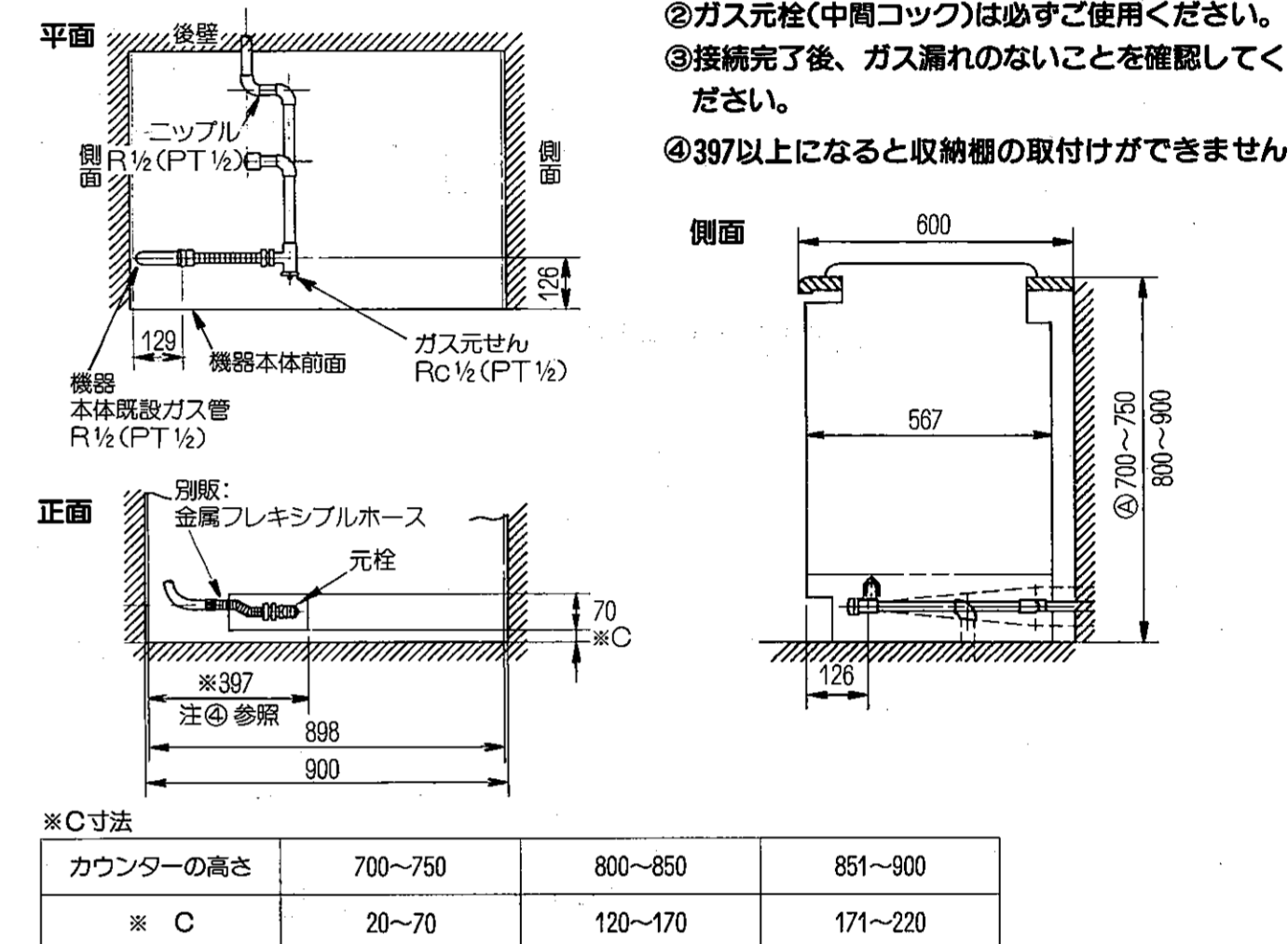
接続工事については、ガス供給事業者の指定する工事店にご依頼ください。

ガス元栓取り付け位置図



配管施工例

(金属フレキシブルホースを使用した配管施工例)

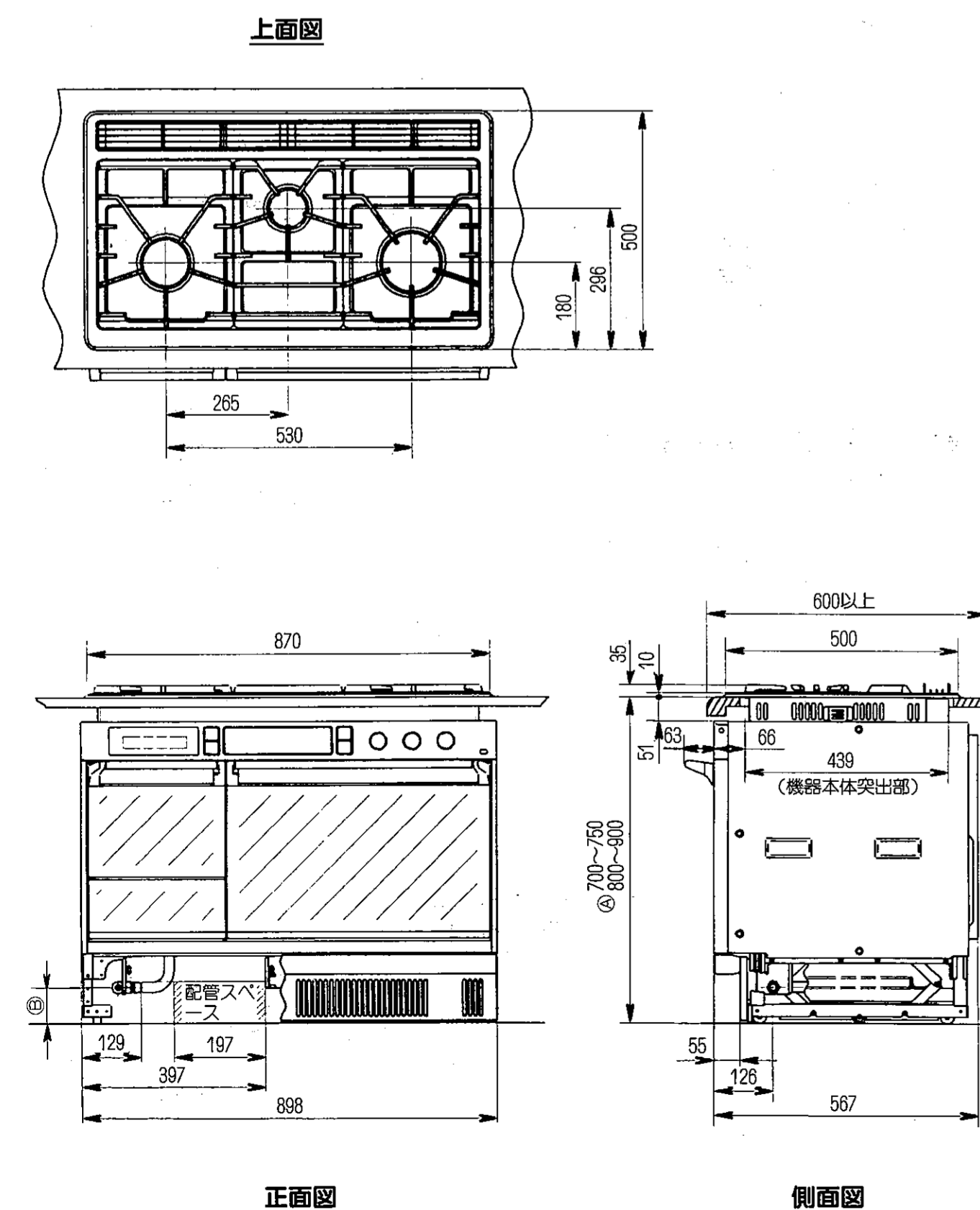


●注意

- ①接続の際はガスシール材を必ずご使用ください。
- ②ガス元栓(中間コック)は必ずご使用ください。
- ③接続完了後、ガス漏れのないことを確認してください。
- ④97以上になると収納棚の取付けができません。

1 寸法図

■外形寸法図



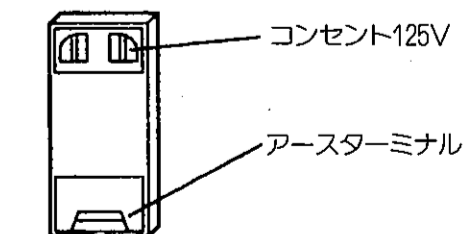
5 電気配線工事

■電源コードの接続

- 電源工事や接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内規」に準じてください。
- 電源は専用回路を設けてください。

電源	交流100V 50Hzまたは60Hz
消費電力	電子レンジ オープン 1.2kW 88W

推奨コンセント: アースターミナル付コンセント(金属枠付)
(松下電工製 WN1031 プレート WN7103W(白))



●注意

- 特に電子レンジとしてお使いの場合は、同一ブレーカー回路でトースターや電気炊飯器などの電熱器具を同時に使わないでください。
- 音響製品との距離はできる限り離してください。
- テレビ、ラジオの雑音や映像の乱れを防ぐため、器具はできるだけ離して設置してください。又できるだけ別のブレーカー回路でお使いください。

■アースについて

- 万一の感電防止のためにアースを取り付けておいてください。
- アースの取り付けは販売店または電気工事店にご相談ください。

●注意 アース線はガス管や水道管、電話用のアース線には絶対に接続しないでください。

機器設置の手順

1 付属部品を取り出す。

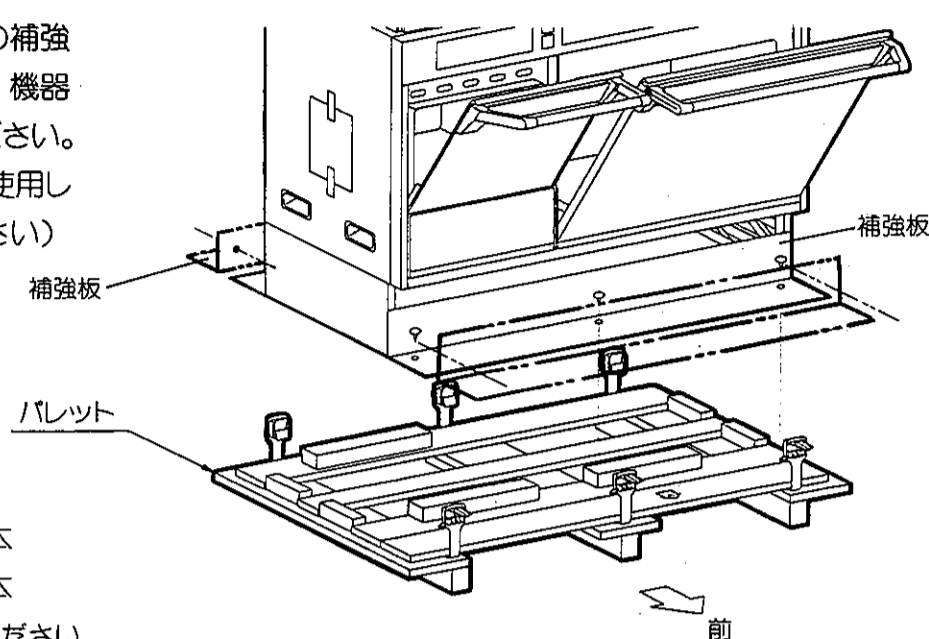
○オープン庫内から付属部品を取り出して下さい。

② 設置前のご注意 参照

2 前後にある補強金具をバレット及び本体から外す。

○バレット(木ネジ)と機器前後の補強板(タッピンネジ)を取り外し、機器本体と補強板を取り外して下さい。(外したタッピンネジはあとで使用しますので保管しておいて下さい)

補強板とバレット
前……木ネジ×6本
後……木ネジ×4本
補強板と本体
前……黒タッピンネジ×4本
後……黒タッピンネジ×4本
※指定以外のネジは外さないで下さい。

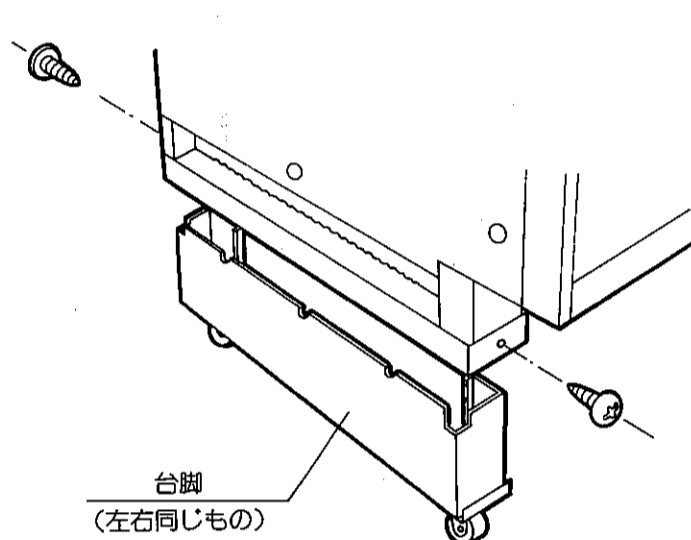


3 台脚の取り付け。カウンター高さ800mm以上の場合。

○「収納ユニット」内の台脚を、機器本体左右の脚の内側にはめ込み、各々前後からタッピンネジで固定して下さい。

○左右片側ずつ持ち上げて取り付けして下さい。

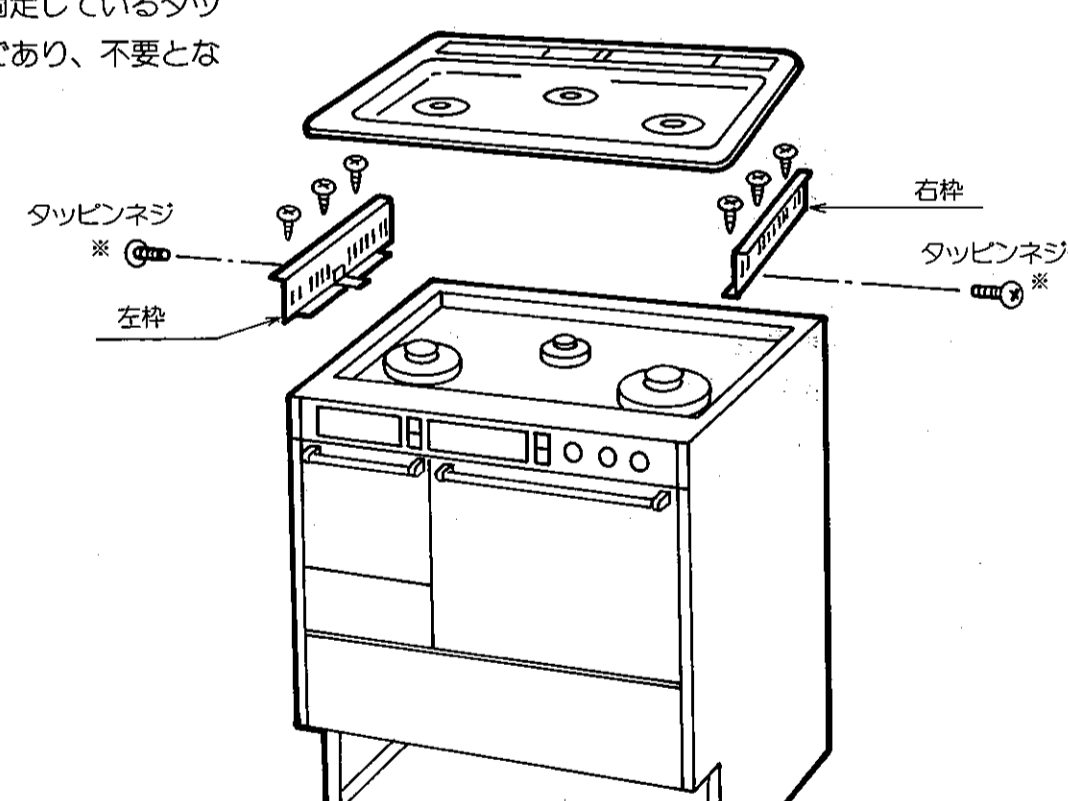
※カウンター高さ800～850と851～900の場合は台脚の高さが異なります。



4 上部枠とトッププレートを外す。

○トッププレートを外した後、左枠、右枠を外して下さい。

※左、右枠と前枠を固定しているタッピンネジは輸送用であり、不要となります。

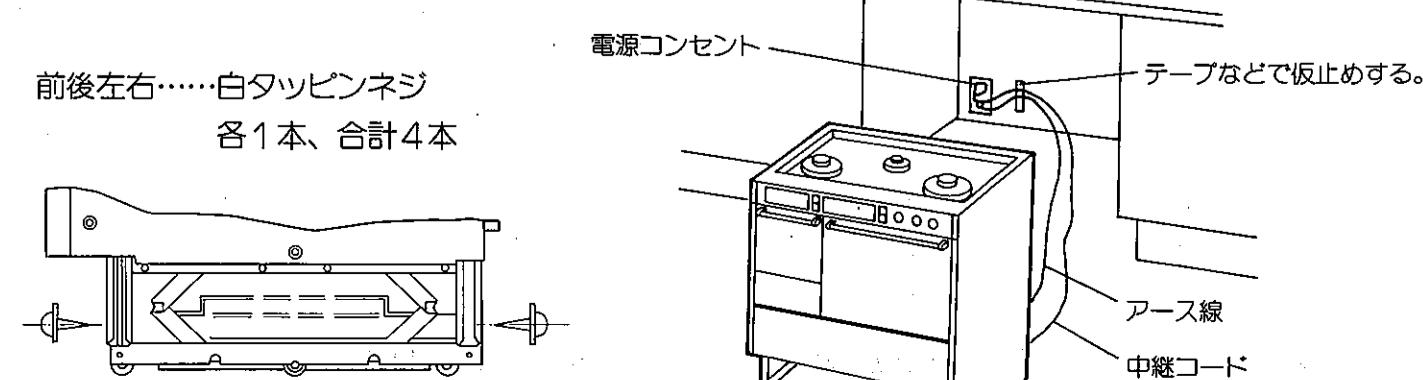


5 中継コードのプラグは電源コンセントに、アース線は、アース端子に接続する。

○中継コード、アース線を電源コンセントに接続して下さい。(中継コードは「収納ユニット」に、アース線は本体裏面にあります)

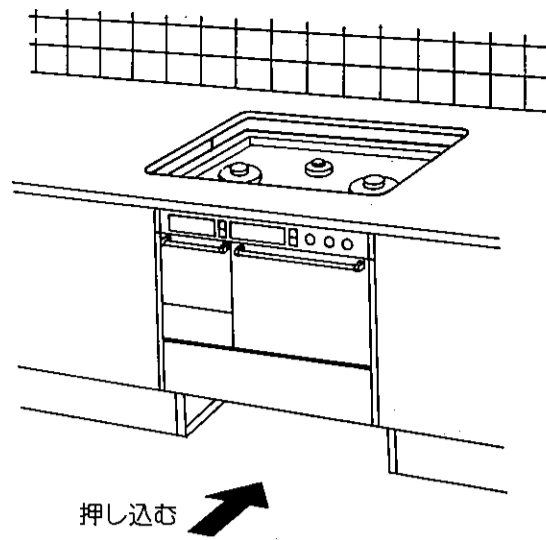
○本体左右の脚部を固定しているネジ(左右各前後のタッピンネジ×2本)を取り外して下さい。(左下図)

※固定したままでは機器を持ち上げセットすることができません。



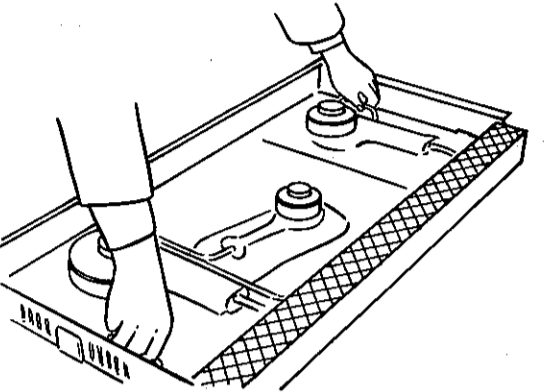
6 本体を押し下げ、キッチンにはめ込む。

○機器をいっばいに押し下げ、キッチンにはめ込んで下さい。
※はめ込みの際、バーナガカウンターに当たらないよう十分に押し下げて下さい。
※中継コード、アース線を隠し込まないように注意して下さい。



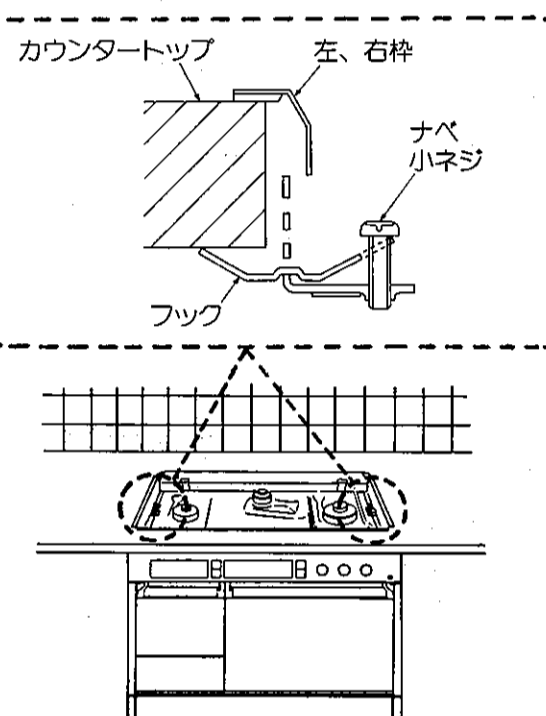
7 本体を持ち上げ上部枠を取り付ける。

○左、右枠の横にある取っ手で器具を持ち上げ、左、右枠を本体に固定して下さい。(4項で取り外したものを)



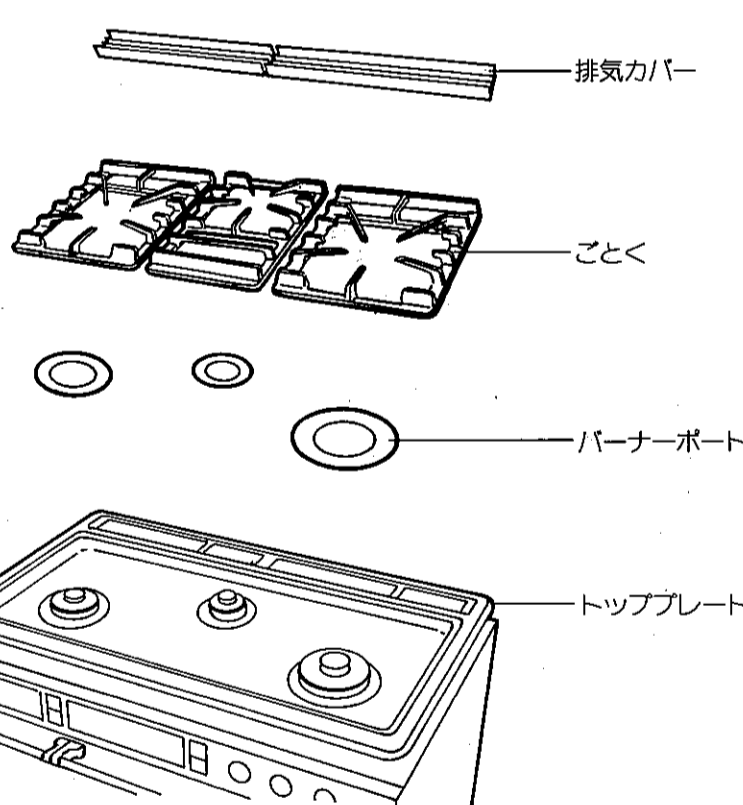
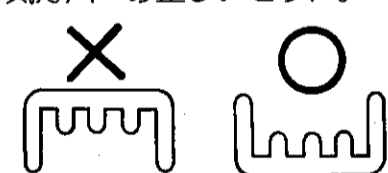
8 カウンタートップと上部枠(本体部)をフックで2ヶ所を固定する。

○本体左右枠に固定しているフック、ネジ(M6×50mm)各×2を取り外し、右図の要領で固定して下さい。
※この場合、器具本体の前面と隣のキャビネット前面が合っていることを確かめて下さい。
※締め付け後、締め付け面ができるだけ水平になるように、左、右枠の孔を運んで下さい。(ネジ頭が極端に上になるとトッププレートと当たることがあります)



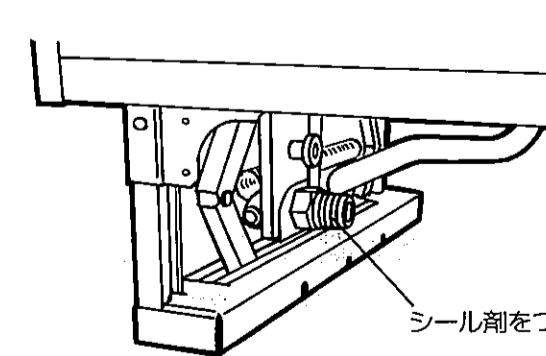
9 トッププレート、排気カバー、バーナーポートごとくをセットする。

排気カバーの正しいセット。

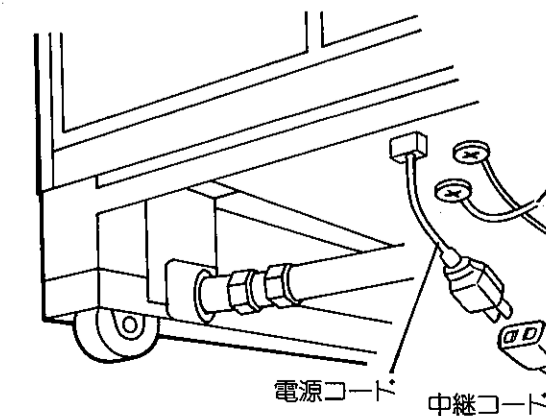


10 ガス引込み管と本体既設ガス管とを接続する。(裏面4ガス配管工事参照)

※別販の金属フレキシブルホースをご使用ください。
※ガス漏れ検査を行なってください。

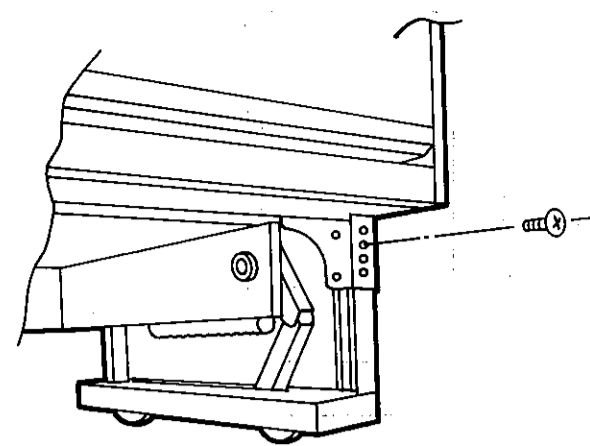


11 中継コードの一方と、本体電源部プラグを接続する。



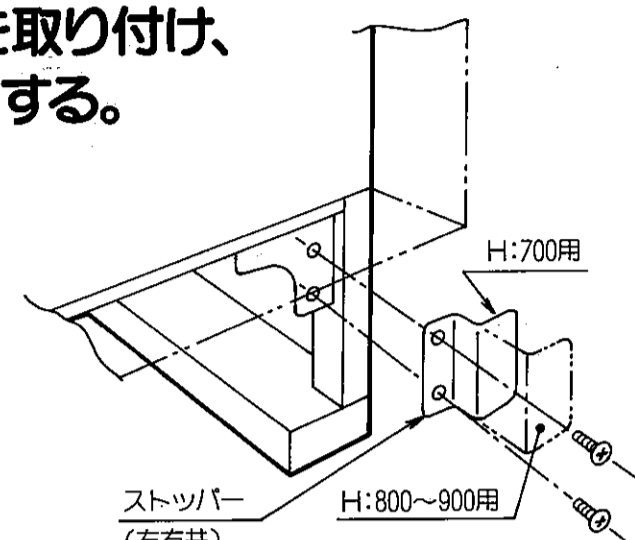
12. 本体の高さを固定する。

○締め付け孔の合ったところで締め付けて下さい。右図の締め付け孔の合ったところで、2.項で取り外したタッピンネジで固定して下さい。



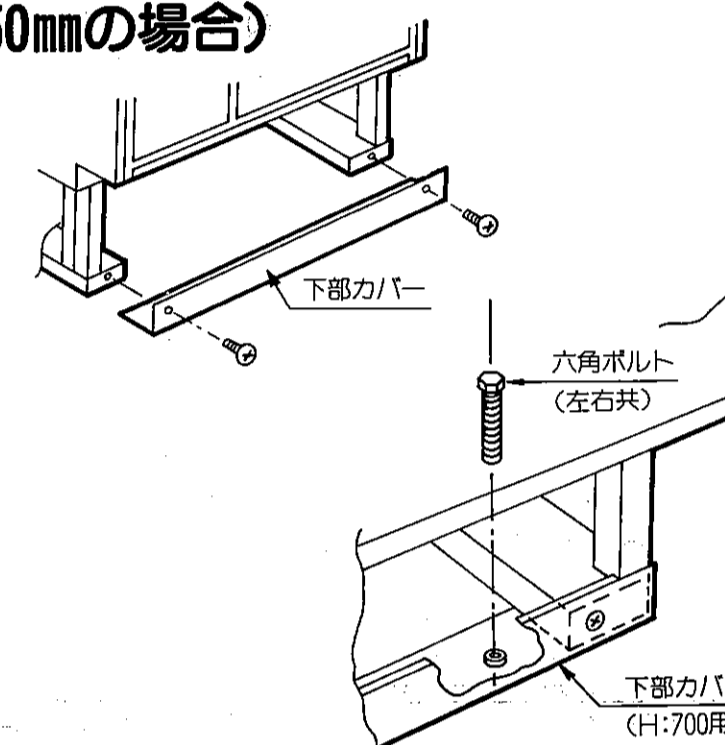
13. 下部カバー、ストッパーを取り付け、本体を固定ボルトで固定する。

○「収納ユニット」内のストッパーを、本体左右の脚にネジで固定して下さい。(タッピンネジ×4)



(カウンター高さ700～750mmの場合)

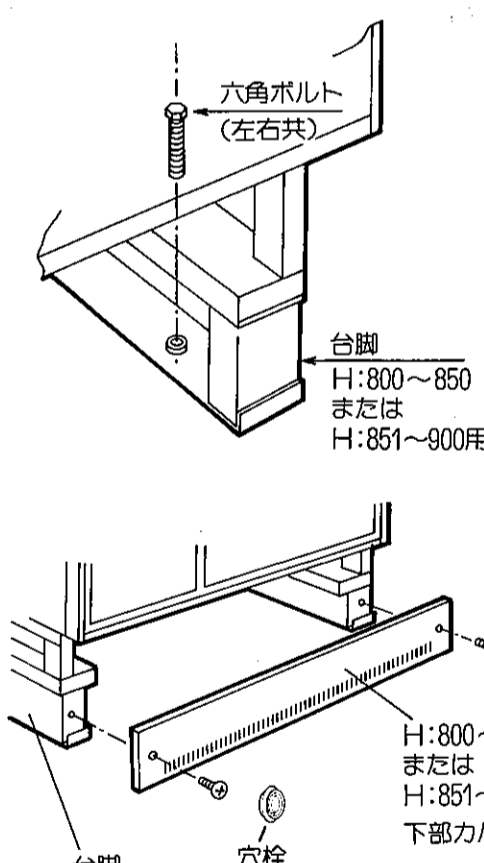
○「収納ユニット」内の下部カバーを、本体左右の脚にネジで固定して下さい。(タッピンネジ×2)



○下部カバーのナット部に六角ボルトをねじ込み本体を固定して下さい。(六角ボルト×2)
(床にふれてから1回が目安です)

(カウンター高さ800mm以上の場合)

○台脚底のナット部に六角ボルトをねじ込み、本体を固定して下さい。(六角ボルト×2)
(床にふれてから1回が目安です)



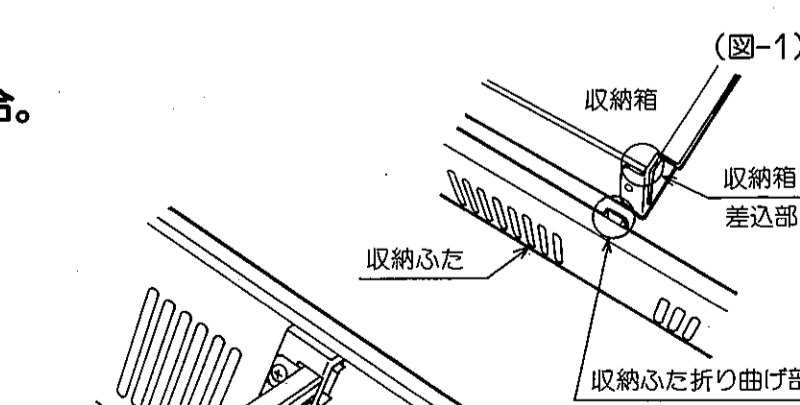
14 収納ふたの取り付け。

※別梱包の「収納ユニット」を開梱し(付属部品説明書)に従い、部品を確認して下さい。

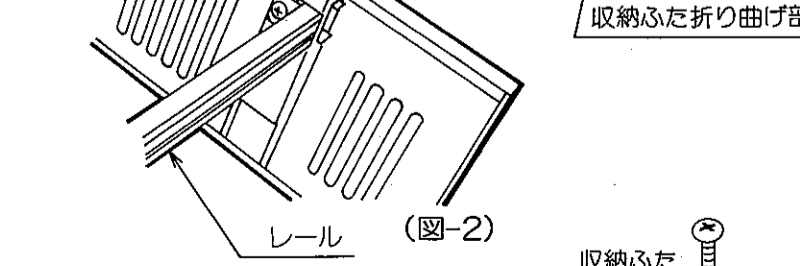
1) 収納箱の組立。

カウンター高さ700～750mmの場合。

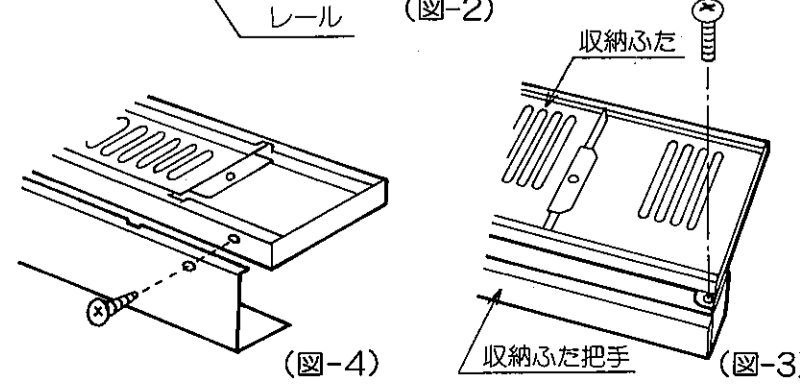
○収納箱の差し込み部に、収納ふたの折り曲げ部を差し込み、ネジ(2本)で固定して下さい。(図-1)



○レールは切り欠き孔に差し込み、先端の爪を確実にに入れてネジ(1本)で固定して下さい。(図-2)



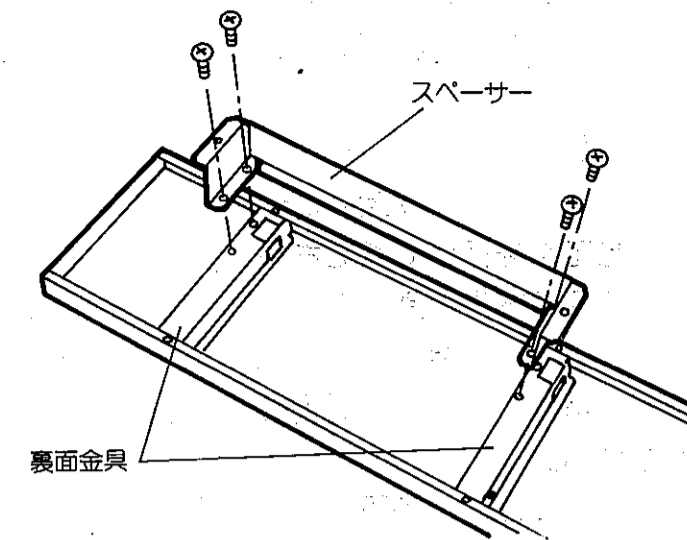
○収納ふたに、収納ふた把手をネジで固定して下さい。
NE-PB907の場合(図-3)
(ネジ2本)
NE-PB907Kおよび
NE-PB907Qの場合(図-4)
(タッピンネジ3本)



カウンター高さ800mm以上の場合。

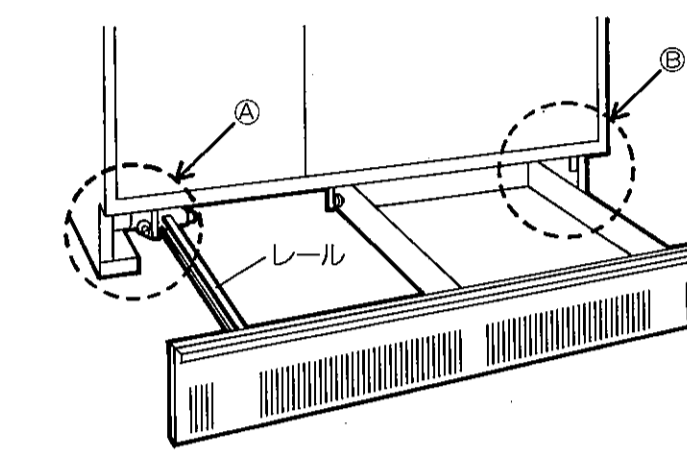
収納ふたの裏面金具に、スペーサーを、ネジ(4本)で固定して下さい。

収納箱の差し込み部に、スペーサーの折り曲げ部を差し込み、ネジ(2本)で固定して下さい。
レールは切り欠き孔に差し込み、先端の爪を確実にに入れてネジ(1本)で固定して下さい。



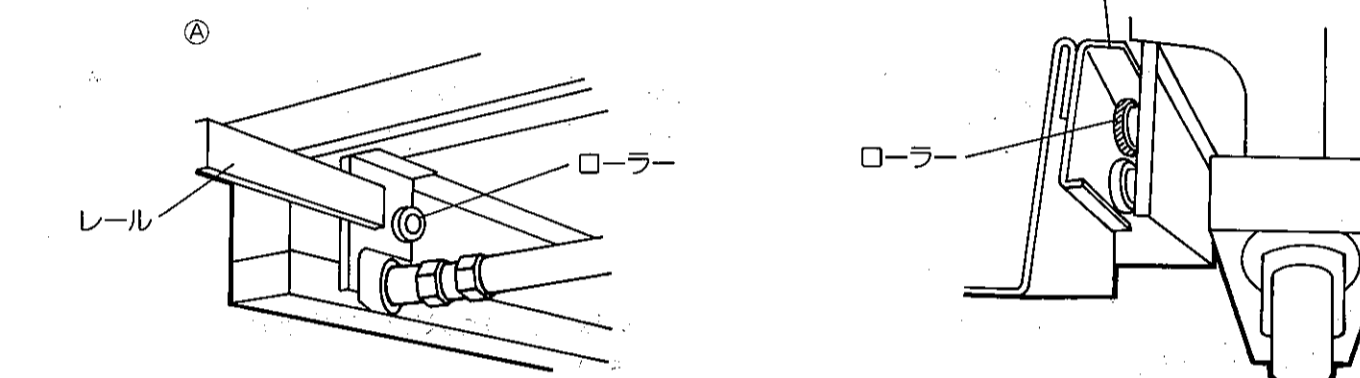
2) 収納箱、の差し込み。

組み立てた収納ふたは図のようにローラー部に正しく合わせ差し込んで下さい。少し差し込むと、固く入りにくくなりますが、この場合、手前を少し持ち上げて押しこんで下さい。



お願い

収納ふたを差し込んだ後、収納ふたと本体の隙間がほぼ均一であることを確かめてください。
不均一な場合は、収納箱、スペーサーのネジをゆるめ、上または下に寄せて再び締めなおし調整してください。
(カウンター高さ700～750mmの場合は、収納箱のネジをゆるめ調整してください)

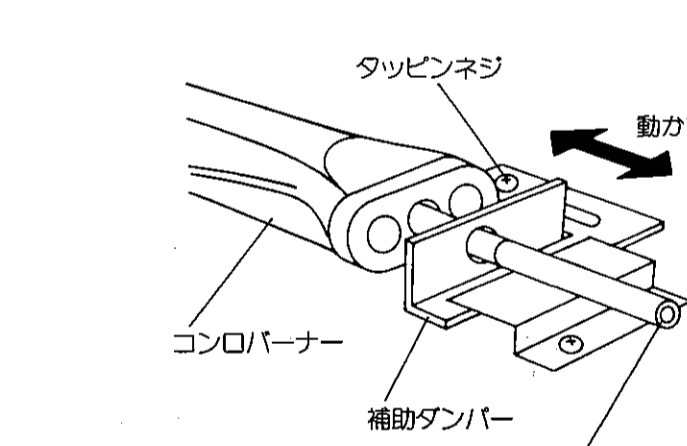


15 試運転を行なう。

取扱説明書に従って、試運転を行なう。

1. オープン庫内に可燃物のないことを確認する。
2. コンロバーナー部、グリルバーナー部が正しくセットしているか確認する。
3. ごとくは前後・左右を確認し、正しくセットする。
4. コンロバーナーの燃焼に異常がないことを確認する。

【万一リフティング(飛火)や、逆火などする場合は、ダンパーで空気調節を行ない、先端にやや丸味がある炎にする。



●着火確認が出来ない場合は必ず放電を確認して下さい。

●点火プラグや炎検出部を損傷しないようにご注意ください。

